岩櫃山周辺ガイドマップ

県内最大級の戦国時代を代表する山城

⑦岩櫃城跡（国指定史跡）【続日本100名城】

国指定史跡
（令和元年10月16日指定）

岩櫃城は、築城時期や築城者は不明ながら、中世に築かれたとされる山城で、文献に初めて登場する城主は、南北朝時代（1336～1392）の吾妻太郎行盛です。
戦国時代の永禄6年（1563）、斉藤越前守憲広（基国）の本城であった岩櫃城は、武田信玄の家臣・真田幸綱（幸隆）によって落城されました。以後、東吾妻は武田氏、そして真田氏の支配地となり、岩櫃城は、上田城と沼田城を結ぶ真田道の中間拠点として最重要視され、上杉・北条・徳川といった巨大勢力に挟まれた真田氏の領国経営の拠点でした。
徳川幕府の開設後も、岩櫃城は真田氏の城として使われましたが、慶長20年（1615）に徳川家康が発令した「一国一城令」によって岩櫃城は破却され、その役割を終えました。

岩櫃城本丸址
25m×15mの建物の土台と思われる形跡があり、ここに岩櫃城の展望台と指揮台を兼ねた中枢部があったと考えられています。

要害地区略図
岩櫃城は、岩櫃山の中腹東面に築かれており、城域の東端は番匠坂、西端は本丸から400mほどの場所とされています。本丸や中城などを擁する要害地区は、南面の切沢の谷と山裾の斜面を自然の城壁としています。

上州吾妻郡岩櫃古城之図 ※長野県立歴史館蔵

⑧岩櫃山（いわびつやま）　ぐんま100名山

標高802.6メートルの岩山で、吾妻八景を代表する景勝地として知られています。南面は約200メートルの絶壁で、奇岩、怪石からなる切り立った山容は、中国の南画のような趣があり、「ぐんま百名山」にも選ばれています。山頂からの眺望はすばらしく、眼下には東吾妻町や中之条町の市街地、眼前には上州の山々が広がり、新緑や紅葉のシーズンには多くのハイカーで賑わいます。

②柳沢城跡（観音山）

岩櫃城の北東、観音山頂上にある柳沢城は、岩櫃城の支城（出丸）と考えられ、「岩鼓の要害」と呼ばれました。南東に向かって飛び出した先端の高所を主郭としています。

⑪岩櫃真田忍者ミュージアム「にんぱく」

URL：http://www.shinobinoran.com
全国から50年を掛けて蒐集した忍者の武器・道具、300点以上を展示する全国にも圧倒的な資料点数を誇る忍者ミュージアム。最新映像技術による演出も楽しめます。忍者こども園、甲冑づくりワークショップも企画しています。
開館時間：10時～16時　　定休日：水曜日（祝日は開館）

③観音山不動堂

百基の観音が祀られていたと伝わる観音山の麓にあるお堂です。観音山の登山道には、石門や岩窟、金を掘ったといわれる洞窟があります。

④観音山不動滝

不動堂脇の崖上から力強いしぶきを上げる大滝です。四季を通じて滝の流れは途絶えませんが、冬には滝の流れの一部が氷の彫刻へと変化します。

⑥岩櫃山平沢登山口観光案内所

各種パンフレットをそろえ、スタッフが岩櫃山周辺を案内してくれます。
開館：4月～11月末予定（9:00～16:00）

⑤コニファーいわびつ

URL：http://www.iwabitsu.co.jp/
岩櫃山中腹にあるリゾートホテルです。吾妻峡温泉の露天風呂の大浴場をはじめ、キャンプ場やテニスコート、グラウンドゴルフ場など、施設も充実しています。
サービス：宿泊、日帰り入浴、食事
電話番号：0279-68-5338

❶東吾妻町役場＆東吾妻町コンベンションホール

URL：https://www.town.higashiagatsuma.gunma.jp/
平成31年1月4日より役場本庁舎が移転しました。最大432名が収容できるコンベンションホールは、椅子を収納すればフラットなフロアとなり、イベントに芸術活動にと多彩な活躍が期待されます。館内すべてが文化の香りに包まれた格調高いスペースです。
岩櫃城温泉くつろぎの館は、平成29年3月31日をもちまして閉館となりました。長い間ご愛顧いただき誠にありがとうございました。

⑨鷹の巣岩陰遺跡（町史跡）

再葬墓と呼ばれる弥生時代の墓の可能性が指摘されている遺跡で、弥生人の人骨と壺・甕などが出土しました。岩櫃山の頂上南面から20m程下った岸壁に開口しています。

⑩潜龍院跡

潜龍院は天正10年（1582）3月、真田昌幸が敗走する武田勝頼を迎え、武田の再興を図るために急造した御殿です。しかし、勝頼は当地に来ることなく、天目山で自刃してしまいました。

凡例

- お土産処
- お食事処
- 駐車場
- トイレ
- 登山口・分岐
- ビュースポット
- 登山口までのルート
- 真田道
- 国道
- 県道

岩櫃山（いわびつやま）おすすめコース

群馬県　山のグレーディング…2C（郷原方面）

岩櫃山は、どの登山口からも1時間程度で山頂に到達でき、時間に追われず登山が満喫できる山です。その一方、登山道には岩場や鎖場（誘導用の鎖を伝う場所）も多く、山頂も鎖場を登った大岩の上にあります。
山道に適した動きやすい服装、歩きやすいトレッキングシューズや登山靴で、山歩きを楽しんでください。

岩櫃山（いわびつやま）の登山道

沢通り（平沢登山口より）
岩櫃山への代表的なルートです。涸れ沢の石場がありますが、ハイキング的な散策が楽しめます。
［約60分　約1.4km］

尾根通り（平沢登山口より）
岩櫃城跡を通る東吾妻の歴史に触れるルートです。尾根沿いの木々の間からは、吾妻川沿いの町並みが見られます。［約60分　約1.7km］

赤岩通り（赤岩登山口より）
赤みがかった巨石と大木を通り抜けるルートです。距離が短い分、やや急な坂道が続きます。
［約50分　約1.0km］

十二様通り（旧赤岩通り）（赤岩登山口より）
赤岩通りを迂回するような、広葉樹林の中を歩くルートです。途中には郷原城跡があります。
［約55分　約1.5km］

密岩通り（密岩登山口より）
いちばん険しい中・上級者向けのルートで、鎖場や岩穴、岩場があります。
※天狗の架け橋は迂回路を通行してください。
［約45分　約0.8km］

JRで岩櫃山へ

岩櫃山ロングコース　時間…約2時間40分　難易度…★★★
JR郷原駅 → 古谷T字路 → 密岩登山口（密岩通り） → 尾根鞍部 → 天狗の架け橋 → 鷹の巣岩陰遺跡 → 御殿 → **岩櫃山山頂** → 九合目 → 櫃の口 → 赤岩通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 尾根通り分岐 → 平沢登山口 → 観音山入口 → 岩櫃山・岩櫃城跡入口 → JR群馬原町駅

岩櫃山駅ラクコース　時間…約2時間　難易度…★★
JR郷原駅 → 古谷T字路 → 赤岩登山口（赤岩通り） → 旧道分岐 → 赤岩通り分岐 → 櫃の口 → 九合目 → **岩櫃山山頂** → 九合目 → 櫃の口 → 赤岩通り分岐（赤岩通り） → 旧道分岐（十二様通り） → 郷原城跡 → 潜龍院跡（赤岩登山口） → 古谷T字路 → JR郷原駅

車で岩櫃山へ

岩櫃山往復コース　時間…約2時間　難易度…★★
平沢登山口 → 尾根通り分岐 → 本丸址分岐 → 櫃の口 → 九合目 → **岩櫃山山頂** → 九合目 → 櫃の口（尾根通り） → 赤岩通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 尾根通り分岐 → 平沢登山口

城址と岩櫃山コース　時間…約2時間30分　難易度…★★★
平沢登山口 → 尾根通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 赤岩通り分岐（赤岩通り） → 旧道分岐（十二様通り） → 郷原城跡 → 潜龍院跡（赤岩登山口） → 古谷T字路 → 密岩登山口（密岩通り） → 尾根鞍部 → 天狗の架け橋 → 鷹の巣岩陰遺跡 → 御殿 → **岩櫃山山頂** → 九合目 → 櫃の口 → 本丸址分岐（沢通り） → 尾根通り分岐 → 平沢登山口

※郷原駅は無人駅です
※平沢登山口には駐車場（70台）と案内所があります
※JRを利用して平沢登山口に向かう場合は、群馬原町駅から歩くのがオススメです（約40分・難易度はコースに★追加）。行きは観音山入口から観音山不動滝に立ち寄り、帰りは岩櫃神社から真田道（番匠坂）を通る、または山裾の真田道を抜けて郷原駅へ向かうなど、ルートを変えてみるのも一興です
※天狗の架け橋は迂回路を通行してください

地図調製　（株）中央ジオマチックス

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び数値地図（国土基本情報）基盤地図情報（数値標高モデル）を使用した。（承認番号　平27情使、第456号）